

赤不動の下で戒壇巡り



厄除波切不動明王 (福岡県篠栗町篠栗)

られる明石寺だ。

少し高台にあるので境内までの階段を上がる。四角の門は男性用で「金剛門」、丸い門は女性用で「胎藏門」というらしい。もちろん駐車場もあり、階段でなくとも境内には行けるのだが。

こちらの厄除波切不動明王は「赤不動」と呼ばれ、高さは台座から10呎。そして何といてもこの台座の下で「戒壇巡り」ができ、閉所恐怖症の方にはおすすりめできないが、左手を壁に添わせて歩かないと一歩も進めないほどの暗闇で、自分の目が開いているのか、閉じているのかも分からなくなってしまう。

途中ようやく薄明かりが見え、暗闇から護摩壇にたどり着いた時の安堵感…。ぜひ味わってみてはどうでしょう。

(小川香織 II フリーライター、福岡市) II 第2金曜掲載

巨巡りぞギョ!

日本三大新四国霊場に数えられることもあるといわれる「篠栗四国八十八カ所」。何カ月もかけて四国霊場を巡るのに比べると、こういう言い方は罰当たりかもしれないが、全長約50キロでお手軽コースだ。

今回は43番霊場に当たる明石寺の「厄除波切不動明王」をご紹介します。

国道201号を飯塚方面へ走ると、八木山バイパスと八木峠に分かれる少し手前に「鳴淵ダム入口」という交差点がある。左に折れると、少し先にダムの大きな堤防がそびえ立っていて、その手前に銅色に輝く巨大な不動明王が姿を現す。ここが厄よけで知